

標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

平成26年度の状況（進行管理）を公表します。

	15年度使用量	26年度使用量	比較	削減率
ガソリン	49,656 ℓ	54,972 ℓ	5,316 ℓ	10.7 %
軽油	211,183 ℓ	245,115 ℓ	33,932 ℓ	16.1 %
灯油	258,382 ℓ	241,712 ℓ	16,670 ℓ	6.5 %
A重油	1,044,715 ℓ	708,830 ℓ	335,885 ℓ	32.2 %
LPガス	9,312 □	7,132 □	2,180 □	23.4 %
電気	4,298,890 kwh	4,012,092 kwh	286,798 kwh	6.7 %
廃プラ一般	306 t	376.4 t	70 t	23.0 %
廃プラ産廃	0.18 t	7.33 t	7.15 t	3,972.2 %
廃油産廃	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0 %
CO ₂ 排出量	6,646,736 kg	5,881,540 kg	765,196 kg	11.51 %

実行計画の削減目標

6,646,736 kg	2.2 %	6,500,799 kg
--------------	-------	--------------

結果分析

基準年である平成15年度に比して、二酸化炭素排出量は765 t減少し、削減目標である2.2%を上回り約11.5%の減となりました。

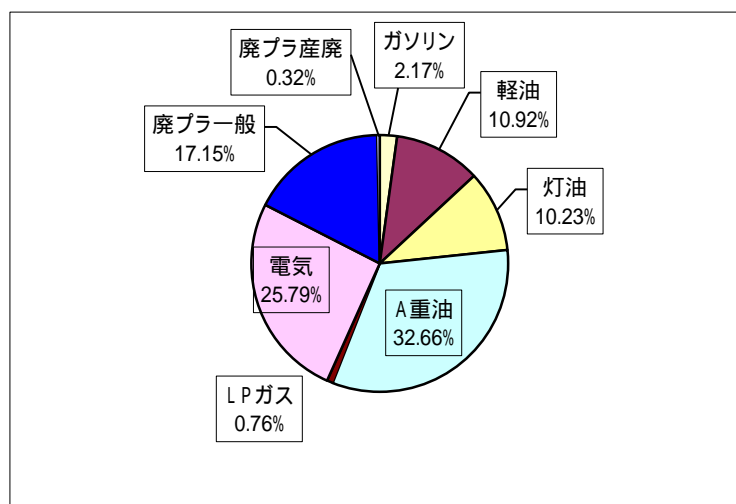
特にLPガス・A重油の削減率が大きくなっていますが、LPガスについては、設置施設の減少による使用頻度の逡減、A重油については、各施設の熱暖房の燃料が灯油へ変更されていることと合せ、電気についても節電効果による電気消費量が減少しており、合せて削減の主因となっています。

ごみとして出るプラスチック類については、燃焼量が増加しており、また組成率の増加も合わせて排出量が増加傾向にあります。今後においても、資源化できるものはできるだけ分別していただきますよう、町民の皆さんにご協力をお願いします。

また、公用車の燃料については、外勤業務の増加、出張時の車両使用や除雪体制の強化などにより、ガソリン・軽油とも使用量が伸びています。

今後の取組としては、ごみ分別の広報、更なる省エネルギーに向けた取り組みや公用車の効率的な

26年度CO₂排出量構成比



問い合わせ先

役場企画財政課企画調整係

(2階 窓口 485 - 2111 内222)